

平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月9日  
上場取引所 大

上場会社名 石光商事株式会社  
 コード番号 2750 URL http://www.ishimitsu.co.jp  
 代表者(役職名)代表取締役社長執行役員 (氏名)森本 茂  
 問合せ先責任者(役職名)常務取締役執行役員管理部門長 (氏名)山根 清文 (TEL)078-861-7791(代表)  
 四半期報告書提出予定日 平成24年11月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日~平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	16,408	△4.0	60	—	△45	—	△80	—
24年3月期第2四半期	17,091	4.0	0	△99.1	30	△69.5	100	69.1

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 △313百万円(—%) 24年3月期第2四半期 2百万円(△93.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	△10.38	—
24年3月期第2四半期	13.05	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	20,511	7,330	34.9
24年3月期	20,772	7,725	36.3

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 7,156百万円 24年3月期 7,541百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日~平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	35,702	1.9	473	349.2	396	387.7	212	39.2	27.51

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社(社名) 、 除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(注) 第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、添付資料5ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期2Q	8,000,000株	24年3月期	8,000,000株
25年3月期2Q	291,711株	24年3月期	291,660株
25年3月期2Q	7,708,323株	24年3月期2Q	7,708,340株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外です。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	4
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	5
3. 四半期連結財務諸表 .....	6
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	8
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	8
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	9
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	10
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要等を背景として緩やかな回復基調が見られたものの、欧州債務問題に加え、中国景気の減速感が鮮明になったことや常態化する円高の影響を受けるなど、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

当社グループの主力マーケットである食品業界におきましても、消費者の節約志向やデフレの長期化が続き、厳しい経営環境となりました。また、コーヒー業界におきましても、数年高値圏で推移していたコーヒー生豆相場が下落傾向にあるものの先行き不透明な状況であります。

このような状況のなか、当社グループは、当社のめざすべき企業像である「THE GLOBAL FOOD MERCHANDISER」として「食」を通じて人々とともに喜びを共有できる企業をめざし、売上高500億円達成に向けた新成長戦略「GO GO PLAN」のもと、当連結会計年度は既存事業の見直しとして「集中管理の推進」「業務効率改善」「営業効率向上」「カテゴリー収益率向上」、新規事業として「新商品開発」「新規顧客開拓」「海外事業拡大」「新情報システムの構築」に取り組んでおります。

その結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は16,408百万円（前年同期比4.0%減少）となりました。利益面につきましては、前年同期に比べ売上高が減少したものの、物流費等の経費削減効果もあり、営業利益は前年同期に比べ59百万円増加し60百万円となりました。また、持分法適用関連会社の業績悪化のため持分法による投資損失66百万円を計上した結果、経常損失は45百万円（前年同期は30百万円の経常利益）、四半期純損失は80百万円（前年同期は100百万円の四半期純利益）となりました。

各部門別の状況は次のとおりであります。なお、前連結会計年度において行った組織変更に伴い、前連結会計年度末より品目別から部門別の区分に変更しております。また、前年同期比につきましては、前年同四半期を変更後の区分に組み替えて表示しております。

## ① コーヒー・飲料部門

## 1) コーヒー生豆

前年のコーヒー相場高値圏での推移を受け、価格の値上げを実施いたしましたが、コーヒー相場のゆるやかな下落傾向のなか、コスト転嫁が進まず、また消費量の伸び悩む厳しい状況となりました。在庫の削減とプレミアムコーヒーの販売に注力いたしましたが、コーヒー生豆の販売袋数は前年同期比4.0%減少し、売上高は前年同期比12.7%減少いたしました。

## 2) コーヒー加工品

レギュラーコーヒーの売上高は、新規開拓の飲料メーカー向け原料販売が第3四半期以降となりましたが、業務用、家庭用での袋入製品の拡大が順調に進みました。

インスタントコーヒーの売上高は、飲料メーカー向け原料販売が増加いたしましたが、家庭用包装製品の競合が激化し前年同期を下回る結果に終わりました。

その結果、コーヒー加工品の売上高は前年同期比0.2%減少いたしました。

3) 茶類

茶類の売上高は、紅茶・烏龍茶および穀物茶等のいわゆる茶外茶、エキスパウダー等の売上高が増加したことにより、前年同期比1.8%増加いたしました。

これらの理由により、コーヒー・飲料部門の売上高は5,045百万円(前年同期比7.4%減少)となりました。

② 食品部門

1) 加工食品

フルーツや野菜の加工食品の売上高は、原材料価格高騰によるコスト高、外食産業の消費低迷という厳しい状況のなか、新規市場として、給食業態に向けての商品開発に取り組みましたが、前年同期比10.1%減少いたしました。

イタリアからの輸入品の売上高は、原材料価格高騰という厳しい状況のなか、ブラッドオレンジジュースの売上高増加、オリーブオイルの新製品開発やカフェ業態への取り組みを拡大した結果、前年同期比5.1%増加いたしました。

メーカー商品の国内売上高は、常温食品が前年同期比9.6%、冷凍食品が15.4%それぞれ減少いたしました。

2) 水産および調理冷蔵

水産の売上高は、ベトナム産のエビで農薬問題の影響を受けたものの、タコ・イカ等の国内メーカー向けの原料、外食産業への売上高は増加したことにより、前年同期比7.4%増加いたしました。

調理冷蔵の売上高は、量販店向けの鶏肉加工品の売上高増加、宅配弁当業者向けの新商品販売は好調でしたが、消費低迷の影響を受けた既存取引先の売上高が減少したため、前年同期比3.3%減少いたしました。

3) 農産および食品開発

農産の売上高は、生産物の豊凶による国内相場への影響、震災特需の反動でフルーツ缶詰は減少いたしました。海外生産のトマト缶、玉葱、レタスやゼンマイ等の新商品の売上高が増加したため、前年同期比6.4%増加いたしました。

食品開発の売上高は、トマト加工品は国内メーカー向けの売上高が大幅に増加いたしました。飲料メーカー向け原料販売は製品早期終売が影響し、前年同月比3.8%減少いたしました。

これらの理由により、食品部門の売上高は10,018百万円(前年同期比2.2%減少)となりました。

③ 海外事業部門

海外事業部門の売上高は、円高による日本産食品の競争力低下に加え、尖閣諸島問題に端を発した中国向け輸出の鈍化で、1,344百万円(前年同期比3.7%減少)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の財政状態につきましては、資産合計は20,511百万円となり、前連結会計年度末に比べ260百万円の減少となりました。これは主に現金及び預金の増加に対し、売上債権およびその他の資産の減少によるものであります。

負債合計は13,180百万円となり、前連結会計年度末に比べ133百万円の増加となりました。これは主に借入金の減少に対し、仕入債務およびその他の負債の増加によるものであります。

純資産合計は7,330百万円となり、前連結会計年度に比べ394百万円の減少となりました。これは主に当第2四半期連結累計期間の四半期純損失80百万円、配当金の支払い77百万円および繰越ヘッジ損益の減少230百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、平成24年8月10日に公表いたしました通期の業績予想から変更はありません。なお、今後修正の必要が生じた場合は、速やかに開示する予定であります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(注) 平成24年2月10日に当社100%出資で設立した「石光商貿(上海)有限公司」を、当第2四半期連結会計期間から連結の範囲に含めておりますが、特定子会社には該当しません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社および国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

なお、これによる損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,931,068	3,344,024
受取手形及び売掛金	6,919,929	6,509,451
商品及び製品	3,554,602	3,631,168
未着商品	530,364	509,827
仕掛品	16,579	14,247
原材料及び貯蔵品	59,352	74,113
その他	451,835	284,977
貸倒引当金	△56,094	△41,805
流動資産合計	14,407,637	14,326,005
固定資産		
有形固定資産	2,965,126	2,901,610
無形固定資産	86,520	68,267
投資その他の資産		
投資有価証券	2,904,263	2,840,765
その他	491,046	462,149
貸倒引当金	△93,188	△96,059
投資その他の資産合計	3,302,122	3,206,856
固定資産合計	6,353,769	6,176,734
繰延資産	10,594	8,301
資産合計	20,772,001	20,511,041

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,409,803	3,846,596
短期借入金	1,967,200	1,030,800
1年内償還予定の社債	180,000	180,000
1年内返済予定の長期借入金	1,363,400	1,508,800
未払法人税等	8,560	20,315
賞与引当金	81,794	97,683
その他	1,180,605	1,373,476
流動負債合計	8,191,363	8,057,672
固定負債		
社債	550,000	460,000
長期借入金	3,426,000	3,797,000
退職給付引当金	110,342	118,430
その他	769,235	747,503
固定負債合計	4,855,578	5,122,934
負債合計	13,046,941	13,180,606
純資産の部		
株主資本		
資本金	623,200	623,200
資本剰余金	357,000	357,000
利益剰余金	6,524,431	6,367,306
自己株式	△107,398	△107,415
株主資本合計	7,397,233	7,240,090
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,892	12,272
繰延ヘッジ損益	135,222	△95,740
為替換算調整勘定	—	83
その他の包括利益累計額合計	144,114	△83,384
少数株主持分	183,711	173,729
純資産合計	7,725,060	7,330,435
負債純資産合計	20,772,001	20,511,041

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	17,091,481	16,408,247
売上原価	15,037,952	14,420,451
売上総利益	2,053,528	1,987,796
販売費及び一般管理費		
貸倒引当金繰入額	△85,860	△11,418
報酬及び給料手当	530,325	498,585
賞与引当金繰入額	117,473	89,809
その他	1,490,714	1,350,517
販売費及び一般管理費合計	2,052,652	1,927,493
営業利益	876	60,302
営業外収益		
受取利息	2,083	2,683
受取配当金	1,950	1,877
持分法による投資利益	58,343	—
受取賃貸料	10,500	11,700
その他	19,086	16,355
営業外収益合計	91,963	32,616
営業外費用		
支払利息	57,573	58,845
持分法による投資損失	—	66,599
その他	4,664	13,348
営業外費用合計	62,238	138,793
経常利益又は経常損失(△)	30,602	△45,874
特別利益		
事業譲渡益	9,865	—
特別利益合計	9,865	—
特別損失		
固定資産除却損	—	1,395
投資有価証券売却損	1,977	—
会員権評価損	400	—
特別損失合計	2,377	1,395
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	38,090	△47,269
法人税、住民税及び事業税	4,656	15,135
法人税等調整額	△64,708	23,361
法人税等合計	△60,051	38,496
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	98,142	△85,766
少数株主損失(△)	△2,413	△5,724
四半期純利益又は四半期純損失(△)	100,555	△80,042

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	98,142	△85,766
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△983	△3,483
繰延ヘッジ損益	△92,602	△230,963
為替換算調整勘定	—	83
持分法適用会社に対する持分相当額	△2,252	6,863
その他の包括利益合計	△95,838	△227,499
四半期包括利益	2,303	△313,266
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,698	△307,541
少数株主に係る四半期包括利益	△2,395	△5,724

(3) 継続企業の前提に関する注記

当第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

該当事項はありません。